

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490400023	事業の開始年月日	平成17年5月1日
		指定年月日	(平成17年5月1日) (平成20年4月1日)
法人名	社会福祉法人豊笑会		
事業所名	ライフハウス日ノ出		
所在地	( 231-0066 ) 神奈川県横浜市中区日ノ出町2-132-3		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成22年10月12日	評価結果 市町村受理日	平成23年1月7日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>京急線日ノ出駅から徒歩4分の神社や学校・公園に近い住宅地に有り4階建屋の3・4階に位置している。バス通りからひとつ入っているため、思ったより静かで隣の公園から子供達が遊ぶ声が聞こえてくる環境です</p> <p>1・2階には小規模多機能型居宅介護と通所介護事業所が有り、日常的に交流する機会が多い</p> <p>法人が特別養護老人ホームを運営しており、家族には安心感を与えている</p> <p>地域の友愛推進委員による友愛訪問や、ボランティアが定期的開催する、習字・朗読・車椅子ダンス・手話ダンス・コーラス・剣舞等が利用者に好評である</p> <p>初詣は隣の神社に参り、桜の時期は大岡川へ散歩に行ったり、フロアから見える隣の神社の桜を満喫している</p>
--

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成22年11月22日	評価機関 評価決定日	平成22年12月24日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>&lt;事業所の優れている点&gt;</p> <p>◇町内会に加入しており行事のお祭りに参加したり、隣接の神社や公園への散歩の折、地域の人や子供達と挨拶や言葉を交わしている。</p> <p>◇外出を好まない利用者が多くなったので散歩の代わりに、事業所の屋上で花を育てたり、体操をしたりお茶を飲むなどしながら日光浴、外気浴を行なっている。</p> <p>◇中学生や地域の友愛推進員やボランティアによる習字、コーラス、車椅子ダンス、手話ダンス、剣舞などを受け入れ、利用者は楽しいときを過ごしている。事業所は、併設の小規模多機能型居宅介護施設や、ディサービスの利用者、託児所の子供達との交流を持ち、地域の人達との触れあいを大切に支援している。</p> <p>◇事業所は4階建ての3・4階にあり、明るいリビングに広い廊下、居室も8畳程の広さがあり、利用者が自分の好みのものを持ち込み、日中もゆったりと過ごすことが出来るように配慮している。</p> <p>◇法人の特別養護老人ホームや他の施設からの情報提供があり、家族に安心感を与えている。</p> <p>&lt;事業所が工夫している点&gt;</p> <p>◇毎月の大掃除の日には利用者、職員と一緒に掃除をし、お茶当番や食事の号令掛けなどをする日直など、利用者のできることを見極めて、自信を持たせるようにしている。</p> <p>◇職員を利用者ごとの担当制にしており、毎月カンファレンスで担当者から様子を聞いて話し合い、課題の解決に取り組んでいる。</p>
--

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ライフハウス日ノ出
ユニット名	3F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらい 3, 利用者の1/3くらい 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安無く過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者、職員は理念を共有し、心を豊かにし、微笑みを持って日々の介護に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の理念を要約した「自由の生活の場、個人の生活習慣を大切に、安心・安全な生活をー」を事務室と各階の入口に掲示している。</li> <li>・毎月の会議で理念を確認し、職員間で共有して具現化に努めている。</li> </ul>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入している お祭りや町内会館改築に寄付をしている 地域ボランティア（友愛推進委員）の受け入れや町内のイベントに参加させてもらっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会に加入し、回覧板で情報を得て、お祭りや地域のふれあいサロンに参加している。</li> <li>・中学生や友愛推進員など地域のボランティアによる習字、コーラス、手話ダンス、剣舞を受入れている。</li> <li>・神社や公園の散歩の折、地域の人達や子供と挨拶をかわしている。</li> </ul>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	外出・散歩したり、隣の公園に行き、挨拶を交わしたりして地域の方々に理解してもらえる様に、又見学希望者には積極的に見学希望を受け入れ施設内の開放に努めている 福祉体験学習の中学生5～6名を毎年定期的に受け入れている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	約3か月に1度の会議にて入居者への理解やホームに関しての理解をしてもらっている 会議で出た意見は各フロア会議で報告しサービスの向上に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の代表、地域包括支援センターの担当者、町内会長、民生委員が参加して3か月毎に開催している。</li> <li>・事業所の現状報告の後、運営についての意見交換をしている。</li> <li>・地域と防災について話し合い、夜間を想定した訓練を実施する予定である。</li> </ul>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	最近では処遇困難者が少なく、区の健康福祉課に相談する事は無いが、以前は介護度の高い入居者に関して相談をしてアドバイスをもらったりしていた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中区担当課とは運営推進会議の報告、介護申請などで連絡をとっている。またインフルエンザ対策などについて、情報を得ている。</li> <li>・グループホーム連絡会に出席して情報を得、他の事業所と交換研修を行なっている。</li> </ul>	

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	建物の3・4階がグループホームであり、エレベーターに防止策が無く、危険な為、各フロアの玄関はオートロックになっている。フロア内の移動は自由である。又非常口の施錠は簡単に開けられる様になっている。転倒リスクの高い入居者はベッドを止めて布団にしている	・「身体拘束をしないケア」を会議で話し合い、ベッドからの転落防止柵の過度な使用を禁止し、床に布団に敷くなどの工夫している。 ・玄関は、日中は施錠していない。ユニットの入口は、時間帯により安全の目的で施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待・拘束に関する資料は各フロアに配布されている 入浴時全身チェックを実施し、傷・あざ等の有無を確認し、発見時はいつ・どこで・どの様な時になったのか又なったのであろうかを話し合い、事故報告・ヒヤリハットに記載している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する資料はフロアに配布されていて、会議等でおおまかな内容は伝えられているが、実際には管理者が対応しており、全職員が関係者と話し合いをしたり・活用する事は無い		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学やパンフレット請求時に説明をし、入居契約時にもきちんと説明をしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月の利用料の請求・領収書発行時にホーム内の様子の報告をしたり、来設時にはお茶を出して話し易い雰囲気作りをしている。ご意見ご要望が寄せられた場合は会議時に話し合い・検討している 苦情受付用紙が設置されている	・利用者の要望は日常の会話から、家族の意見や要望は来所時に話しやすい雰囲気を作って聴取し、会議で検討し職員間で共有して対応している。 ・個人的に食事が少なくなった利用者の家族からの要望で、摂取量の記録を見せて相談に応じている。	

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のフロア会議・リーダー会議（管理者・フロアリーダー）・経営推進会議（理事長・施設長・各部門の管理者・リーダー）等の会議により順次職員の意見や提案が報告され、反映されている	・毎月、フロア会議、リーダー会議があり、フロア会議でに出された職員の意見はリーダー会議でまとめ、全体会議にかけて受入れている。 ・行事の内容やケアの方法などには、職員の意見を取り入れて実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	新年会は法人主催で毎年開催されている 夏祭りは法人本部や法人内の関連施設の役職者が手伝いに来てくれる等各施設間の交流が持っている 毎月の収入の他に処遇改善手当などの手当が支給されている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年4月・10月に新入職員研修を法人本部主催で実施している 資格支援制度が有りヘルパー2級の資格取得を奨励している グループホーム連絡協議会のグループホーム間の交換研修に参加している 講習会・研修会の資料配布をしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡協議会の交換研修の実施により、交流・体験を通じて学んだ事を日々の業務に生かしている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にアセスメントを兼ねて本人に会って、本人の生い立ちや家族歴、趣味や嗜好等色々なお話をしたり、お話を聞かせて頂いたりして、お互いに理解できる様に努めている		

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時からお話を傾聴し、相談し易い雰囲気を作る様に努めている 傾聴と受容を基本とし、不安が解消する様、何度でも話し易い雰囲気を持って対応している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者の生活歴・趣味・嗜好等をお聞きし、新しい生活に早く慣れて頂ける様に、又居心地良く過ごして頂けるには？等を中心に支援の見極めと対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の話を良く聞き、会話の時間を努めて取る事により、お互いの理解ができ、同じ時間と空間を共有する者同士としての関係作りをしている 入居者のADLを把握した上で、今後の生活に何が必要か？スタッフ間で話し合っている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	自由に来設して頂き、入居者とゆっくり会話して頂く時間を設けて頂ける様にお茶を出している 書面や口頭で入居者の様子を伝え、困り事を相談したりして連携を取っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自由に来設して頂き、入居者とゆっくり会話して頂く時間を設けて頂ける様にお茶を出している 電話で話をされる方もいる	・訪ねて来る家族や親戚、会社の後輩には、リビングや居室でゆっくり過ごしてもらっている。 ・町で買い物をし、行きつけの花屋で仏花を買い、かつて行った横浜港や赤レンガ倉庫など、利用者の馴染みの場所に出かけるように支援している。	

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士仲良く、一緒に生活していける様に声掛け・介助・話題作りをしている。リビングで一緒に活動する様にしている。共同作業や共同作品作りもしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も年賀状・暑中見舞いを送ったり、電話をしたり、時には訪問して御様子を伺う事もある		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを取り、一人一人の要望・意見を傾聴し、入居者の思いを尊重し、意向になるべく沿った日常生活が送れる様に努めている	・入居時に利用者や家族の要望、意向を把握し、日常生活の会話や、入浴時のおしゃべりで利用者個々の思いを把握している。 ・表現が困難な利用者には、声掛けをしたときの様子、しぐさや表情から汲取るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントの情報や会話の中での情報を把握し、その人らしさを見出す様にしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントの情報や日々の生活状態を良く見て、一人一人に合った生活支援を目指して話し合い、情報共有をしている		

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のフロア会議で入居者の状況を話し合いその結果や家族の意見も参考にしている	・アセスメントを基に家族の意見を入れ、6か月毎に介護計画を作成している。 、毎月の会議で担当職員が記入したADL表を基に話し合い、モニタリングして見直している。 ・介護計画は、6か月の定期以外にも、状況の変化や家族の要望を入れてその都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録・申し送りノートへ日々の変化を記入し、毎朝の申し送りで様子を申し送り、各々のスタッフが情報共有して介護の実践をしている 毎月の様子のまとめ等を活用して、介護計画の見直しに生かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の様子観察により本人の様子の変化の把握や家族の希望・要望により対応していく様にしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議を通して地域の様子を把握し、定期的な消防指導訓練により安全確保を図っている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1度提携医療機関から往診がある 毎週歯科検診の実施 必要に応じて歯科治療の往診もある 体調急変時には緊急で近くのクリニック等を受診している	・以前のかかりつけ医に受診する利用者には家族に対応してもらっているが、都合がつかないときは職員が付添っている。 ・内科医が2週間ごとに、歯科医は毎週往診がある。普段は近くの医療機関を利用している。	



ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同じ建物内のデイサービスの看護師に日常の健康管理に関する相談に乗ってもらい、必要時には医療的処置もお願いしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員は必要物品を届けて様子を聞いたり、退院後も症状に応じて、病院側と連絡を取っている 近隣の総合病院の相談室のMSWとすぐ連絡がつく様にしている		
33	12	○重度化終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族とは会話の中で、重度化への対応や終末期についての事は確認している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の系列に特別養護老人ホームもあるので、法人の方針でターミナルケアは行なわないことを、入所時家族に説明し了承してもらっている。</li> <li>・重度化した場合、利用者の家族には、特別養護老人ホームに申し込めばと勧めている。</li> </ul>	高齢の利用者や、ターミナルケアが必要な方には、常に相談できる医師を確保するなど、事業所としての方針を明確にして職員と共有することが望まれます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変・事故時のマニュアルは各フロアに掲示して有り、一人一人の職員にも渡してある 緊急持ち出し品も用意しておりすぐ持ち出せる様になっている 以前に消防署の方から応急手当に関しての指導を受けた事はあるが、最近では実施していない 緊急時の対応に関して会議で話し合っている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て年2回の火災訓練を実施している 又災害用のビデオを見たりして、災害への意識を高めている 運営推進会議での話で地域との合同訓練を実施する予定である 災害対策用品として水と非常用保温アルミシートの備蓄をしてある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災担当者が中心に、消防署の指導のもと防災訓練を年2回、歩ける利用者も一緒に行っている。</li> <li>・地域の人の参加はないが、運営推進会議で、夜間想定での防災訓練を町内会と合同での実施を申し入れ、現在、検討中である。</li> <li>・災害用品、水食料は備蓄している。</li> </ul>	

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライドを傷つける様な言葉遣いはしない様に、人生の先輩として尊敬した言葉遣いや対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入社時、接遇マニュアルで研修し、言動に配慮して利用者のプライドや尊厳を傷つけない介護に努めている。</li> <li>・職員の不適切な言動には、管理者がその場で注意している。</li> <li>・個人記録は、所定のファイルに入れ施錠し管理している。</li> </ul>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	全て介助せず、本人の残存能力を活用できる様な声掛けをするようにしている 本人の意思を尊重し、「やりたい」「できる」という気持ちを大切にする様な介助ができる様に努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の業務の流れは決まっているが、利用者の身体状況・意思・希望・ペースに合わせて起床時間・食事時間等を臨機応変に変更して対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着る物は入居者自身で選んでもらう様にしているが、体調・天候・気候に応じて、職員が声掛け、介助する場合がある		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普段は決められた献立により食事の提供をしているが、月に1回は職員・入居者全員で食事作りをしている できる方には盛り付けをお願いしてやってもらったりしている 下膳や食器拭きは無理の無い様に入居者の意思を確認して実施してもらっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は家族が用意した馴染みの食器類を持ち込んでいる。</li> <li>・利用者間で「日直」を決め、食前の挨拶をし、お茶の当番をしている。</li> <li>・行事や、利用者の誕生日には、好みの食事を職員と一緒に作っている。</li> </ul>	

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材はタイヘイに依頼しており栄養摂取量・バランスに関しては問題は無いと思われる 食事量・水分摂取量は記録した表により確認できる様になっている 体調・気分により摂取量が少ない方は栄養補助食品で補ったりしている (大体決まった方だが)		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日食後の歯磨きを実施し、週に1回は口腔ケアで専門家に口の中の状態を診てもらって、アドバイスをもらっている 指摘された点はスタッフが日常の口腔ケア時に注意して対応している 夜間は義歯を預かり、洗浄・消毒をしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用して、排泄パターンを把握し、トイレにて排泄できる様声掛け・誘導をしている	・排泄チェック表からパターンを把握し、タイミングを計ったり利用者の様子から判断して早目にトイレに誘い成功したことで自信につながり、自立した例がある。 ・落ち着いて使えるように、女性専用のトイレも設けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時に牛乳(オリゴ糖を足す人もいる)、朝食時にヨーグルトを提供し、食後のトイレ誘導・体操等も実施しているが、それでも便秘してしまう場合は、往診医により処方された緩下剤の服用をしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は大体決まっているが(週3回は入浴したい為)、行事・体調により曜日変更をしている 入浴前には、必ずバイタルチェックを実施し、体調管理をすると共に、入浴(通常・短時間)・シャワー・清拭・中止等を決めている	・週3回入浴している。入浴時間を利用者と職員の触れ合いの場とし、職員とおしゃべりをしたり、歌を歌ったりして楽しんでいる。 ・季節には菖蒲湯、ゆず湯や、時には入浴剤も使用して変化をつけている。	

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望や体調・身体状況により居室で休んでもらう様にしている 又リビングで居眠りをされている場合居室で休む様声掛けして、本人の意思確認をしている（「ここで良い」との答えであればしばらくはそのまま様子を見て、又上記の声掛けをしている）		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の週間壁掛けポケット（曜日と朝・昼・晩の仕切りがある）と袋で分類し、服薬時、誤薬の無い様に、名前を確認して手渡し、飲み込みを確認後、傍を離れる様にしている 処方薬の説明書は個人ファイルにファイルしており、副作用等についても記載してあるので、必ず目を通す様にしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	103歳の方のお盆拭きを始めとして各々できる事をお手伝い頂き、役割を持つ喜びをもって頂ける様にしている 出来る方には縫物もお願いする事がある（裾上げ・雑巾縫い等） 出来る限り外出する様にして気分転換を図ってもらっている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ADLの低下等により、希望通りにはいかない事が多いが、こまめに戸外に出る様にしている 春のお花見・秋の紅葉狩り・近くの公園でのピクニック等季節を感じてもらえる様にしている	・天気の良い日は午後 <sup>に</sup> 週2回、車椅子の方も一緒に大岡川、隣接の「子の神社」に散歩している。散歩に行かれないときは屋上で外気浴をしている。 ・行きつけの美容院には家族が、花屋へは職員が付添っている。 ・横浜港や三溪園への遠出は職員・研修生が同行している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはホームで管理しているが、御家族の了承を得て手元に現金を持っている人はいる 日常品の買い物時、スタッフと一緒に外出し、買い物を楽しんでいる方もいる		

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話や手紙は喜ばれるので、協力して頂いている 手紙のやり取りはご希望があれば葉書を用意したりポストへの投函をしている。 定期的に電話を下さる家族もいれば、こちらから電話をするのも了解を得なければならない家族もいるので、その都度支障の無い様に対応している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの壁面には大型の手作りカレンダー・季節感のある物を掲示している トイレ・浴室などはわかり易い様に表示している 各居室の入り口には表札の他に、扉に名前とその居室の方の写真を貼り分かり易くしている	・廊下・居間は夜間22度、日中は24度に保ち加湿している。居間はベランダに面し大きな窓で明るく、壁面には紅葉や銀杏の切絵を飾り、TV、ソファを置きくつろげる空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはテーブル席の他にソファが有り、各々リラックスした自由な時間を過ごしている又洗面台の横にはベンチが有り、そこで過ごされる方もいる		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物の持ち込みをお願いしてお持ち頂いている 本人・家族で居室内の設えはして頂いている その後の変更は、職員と入居者で相談をして実施している 誕生日のお祝いボードやその方の作品を飾ったりしている	・備付けのクローゼット以外は、カーテン、置物、仏壇、家具など馴染みの物を持ち込み、ベッドではなく、床にマット敷いている利用者もいる。 ・居室の清掃は職員が行なうが、月1回の大掃除は利用者も手伝い、洗濯物は、職員と一緒に整理し利用者が居心地よく過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	掃除の手伝い・天気図への記入等できる事を、無理無くして頂いている 各所に表示をして分かり易くしている又廊下幅が広く取っており、手摺りを設置して安全に移動し易い様にしている		

事業所名	ライフハウス日ノ出
ユニット名	4F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安無く過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を共有し、御家族や地域との関係強化に努め、会議の時にも話し合っている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入している お祭りや町内会館改築に寄付をしている 地域ボランティア（友愛推進委員）の受け入れや町内のイベントに参加させてもらっている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	外出・散歩したり、隣の公園に行き、挨拶を交わしたりして地域の方々に理解してもらえる様に、又見学希望者には積極的に見学希望を受け入れ施設内の開放に努めている 福祉体験学習の中学生5～6名を毎年定期的な受け入れている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	約3か月に1度の会議にて入居者への理解やホームに関する理解をもらっている 会議で出た意見は各フロア会議で報告しサービスの向上に努めている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	最近では処遇困難者が少なく、区の健康福祉課に相談する事は無いが、以前は介護度の高い入居者に関して相談をしてアドバイスをもらったりしていた		

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	建物の3・4階がグループホームであり、エレベーターに防止策が無く、危険な為、各フロアの玄関はオートロックになっている。フロア内の移動は自由である。又非常口の施錠は簡単に開けられる様になっている。転倒リスクの高い入居者はベッドを止めて布団にしている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待・拘束に関する資料は各フロアに配布されている 入浴時全身チェックを実施し、傷・あざ等の有無を確認し、発見時はいつ・どこで・どの様な時になったのか又なったのであろうかを話し合い、事故報告・ヒヤリハットに記載している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する資料はフロアに配布されていて、会議等でおおまかな内容は伝えられているが、実際には管理者が対応しており、全職員が関係者と話し合いをしたり・活用する事は無い		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学やパンフレット請求時に説明をし、入居契約時にもきちんと説明をしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月の利用料の請求・領収書発行時にホーム内の様子の報告をしたり、来設時にはお茶を出して話し易い雰囲気作りをしている。ご意見ご要望が寄せられた場合は会議時に話し合い・検討をしている。苦情受付用紙が設置されている		



ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のフロア会議・リーダー会議（管理者・フロアリーダー）・経営推進会議（理事長・施設長・各部門の管理者・リーダー）等の会議により順次職員の意見や提案が報告され、反映されている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	新年会は法人主催で毎年開催されている 夏祭りは法人本部や法人内の関連施設の役職者が手伝いに来てくれる等各施設間の交流が持てる 毎月の収入の他に処遇改善手当などの手当が支給されている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年4月・10月に新入職員研修を法人本部主催で実施している 資格支援制度が有りヘルパー2級の資格取得を奨励している グループホーム連絡協議会のグループホーム間の交換研修に参加している 講習会・研修会の資料配布をしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡協議会の交換研修の実施により、交流・体験を通じて学んだ事を日々の業務に生かしている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にアセスメントを兼ねて本人に会って、本人の生い立ちや家族歴、趣味や嗜好等色々なお話をしたり、お話を聞かせて頂いたりして、お互いに理解できる様に努めている		

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時からお話を傾聴し、相談し易い雰囲気を作る様に努めている 傾聴と受容を基本とし、不安が解消する様、何度でも話し易い雰囲気を持って対応している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者の生活歴・趣味・嗜好等をお聞きし、新しい生活に早く慣れて頂ける様に、又居心地良く過ごして頂けるには？等を中心に支援の見極めと対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の話を良く聞き、会話の時間を努めて取る事により、お互いの理解ができ、同じ時間と空間を共有する者同士としての関係作りをしている 入居者のADLを把握した上で、今後の生活に何が必要か？スタッフ間で話し合っている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	自由に来設して頂き、入居者とゆっくり会話して頂く時間を設けて頂ける様にお茶を出している 書面や口頭で御入居者の様子を伝え、困り事を相談をしたりして連携を取っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自由に来設して頂き、入居者とゆっくり会話して頂く時間を設けて頂ける様にお茶を出している 入居者が書かれた手紙・はがきを出したり、その返事をもらったりしている 電話で話をされる方もいる		

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士仲良く、一緒に生活していける様に声掛け・介助・話題作りをしている リビングで一緒に活動する様にしている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も年賀状・暑中見舞いを送ったり、電話をしたり、時には訪問して御様子を伺う事もある		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人・家族との対話を通して、希望・意向を把握し、それに沿った日常生活が送れる様に努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントの情報や会話の中での情報を把握し、その生活に近づける様に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントの情報や日々の生活状態を見守り観察し、現状の把握に努め、情報共有をしている		

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のフロア会議で入居者の状況を話し合いその結果や御家族の意見も参考にしている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に日々の変化を記入し・申し送りノート、毎朝の申し送りで様子を申し送り、各々のスタッフが情報共有して介護の実践をしている 毎月の様子のまとめ等を活用して、介護計画の見直しに生かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の様子観察により本人の様子の変化の把握や御家族の希望・要望により対応していく様にしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議を通して地域の様子を把握し、定期的な消防指導訓練により安全確保を図っている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1度提携医療機関から往診がある 毎週歯科検診の実施 必要に応じて歯科治療の往診もある 体調急変時には緊急で近くのクリニック等を受診している		

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同じ建物内のデイサービスの看護師に日常の健康管理に関する相談に乗ってもらい、必要時には医療的処置もお願いしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員は必要物品を届けて様子を聞いたり、退院後も症状に応じて、病院側と連絡を取っている 近隣の総合病院の相談室のMSWとすぐ連絡がつく様にしている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族とは会話の中で、重度化への対応や終末期についての事は確認している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変・事故時のマニュアルは各フロアに掲示して有り、一人一人の職員にも渡してある 緊急持ち出し品も用意してありすぐ持ち出せる様になっている 以前に消防署の方から応急手当に関する指導を受けた事はあるが、最近では実施していない 緊急時の対応に関して会議で話し合っている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て年2回の火災訓練を実施している 又災害用のビデオを見たりして、災害への意識を高めている 運営推進会議での話で地域との合同訓練を実施する予定である 災害対策用品として水と非常用保温アルミシートの備蓄をしてある		

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いに気を付け、入居者の人格を尊重する様努めている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	全て介助せずに、本人の残存能力を活用できる様な声掛けをするようにしている 入居者の意思を大切にし、自発的に行動できる様な介助ができる様に努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の業務の流れは決まっているが、利用者の身体状況・意思・希望・ペースに合わせて起床時間・食事時間等を臨機応変に変更して対応している 食事形態も必要に応じて対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装は起床介助時本人に聞きながら、天気や季節を考慮した助言をしながら決めている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普段は決められた献立により食事の提供をしているが、月に1回は職員・入居者全員で食事作りをしている できる方には盛り付けをお願いしてやってもらったりしている 下膳は無理の無い様入居者の意思を確認して実施してもらっている		

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材はタイヘイに依頼しており栄養摂取量・バランスに関しては問題は無いと思われる 食事量・水分摂取量は記録した表により確認できる様になっている 体調・気分により摂取量が少ない方は栄養補助食品で補ったりしている (大体決まった方だが)		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日食後の歯磨きを実施し、週に1回は口腔ケアで専門家に口の中の状態を診てもらって、アドバイスをもらっている 指摘された点はスタッフが日常の口腔ケア時に注意して対応している 夜間は義歯を預かり、洗浄・消毒をしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用して、排泄パターンを把握し、介助の必要な方には定時誘導し、その他の方は声掛けにて行って頂くようにして、トイレにて排泄できる様声掛け・誘導をしている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時に牛乳、10時のお茶の時にヨーグルト(オリゴ糖を混ぜている)を提供し、食後のトイレ誘導・体操等も実施しているが、それでも便秘してしまう場合は、往診医により処方された緩下剤の服用をしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は大体決まっているが(週3回は入浴したい為)、行事・体調により曜日変更をしている 入浴前には、必ずバイタルチェックを実施し、体調管理をすると共に、入浴(通常・短時間)・シャワー・清拭・中止等を決めている 浴室では職員と会話をし楽しんで頂いている		

ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望や体調・身体状況により居室で休んでもらう様にしている 又リビングで居眠りをされている場合居室で休む様声掛けして、本人の意思確認をしている（「ここで良い」との答えであればしばらくはそのまま様子を見て、又上記の声掛けをしている）		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の週間壁掛けポケット（曜日と朝・昼・晩の仕切りがある）と袋により分類し、服薬時、誤薬の無い様に、名前の確認をして手渡し・口に入れる等し、飲み込むのを確認してから傍を離れる様にしている 処方薬の説明書は緊急用ファイルにファイルしてあり、副作用等についても記載してあるので、必ず目を通す様にしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各々できる事をお手伝い頂き、役割を持つ喜びをもって頂ける様にしている 年間を通して季節毎の行事に参加して楽しんで頂いている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ADLの低下等により、希望通りにはいかない事が多いが、こまめに戸外に出る様にしている 入居者の希望を把握し、戸外に出られる様計画し、外出する機会を増やす様支援している		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日常の買い物時職員と一緒に外出し、買い物を楽しんでいる 御家族了承の元、本人が安心して居られる様に手元に現金を持っている方もいる		



ライフハウス日ノ出

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話や手紙は喜ばれるので、協力して頂いている 定期的に電話を下さる家族もいれば、こちらから電話をするのも了解を得なければならぬ家族もいるので、その都度支障の無い様に対応している 手紙・はがきは、自由にやり取りしてもらっている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの壁面には大型の手作りカレンダー・季節感のある物を掲示し、居室・廊下にも同様の物を飾ったり、入居者の作品を掲示したりして共用空間作りに努めている トイレ・浴室などはわかり易い様に表示している 各居室の入り口には表札の他に、扉に名前とその居室の方の写真を貼り分かり易くしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはテーブル席の他にソファ・テレビが有り、各々リラックスした自由な時間を過ごしている 本・アルバムも見る事が出来る様に置いてある		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物の持ち込みをお願いしてお持ち頂いている 本人・家族で居室内の設えはして頂いている その後の変更は職員と入居者で相談をして実施している バースデイカードやその方の作品を飾ったりしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	掃除の手伝い等できる事を、無理無くして頂いている 各所に表示をして分かり易くしている 又廊下幅が広く取っており、手摺りを設置して安全に移動し易い様にしている		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ライフハウス日ノ出

作成日 平成22年12月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化・終末期に向けた方針の共有と支援に関する項目で、同じ法人内に、特別養護老人ホーム等も有るので、法人の方針としてはグループホームでは終末期の対応はしない方針では有るが、実際に入居されている高齢者やターミナルケアが必要な方に対しての事業所としての指針や対応が必要	高齢の利用者やターミナルケアが必要な方には常に相談できる医師を確保する等、事業所としての方針を明確にし、職員と共有できる様になる	・在宅診療を手掛けていて、緊急時にすぐ対応してもらえる医師もしくは看護師による往診対応の確立と終末期・ターミナルに関する事業所としての方針を打ち出せる様に、職員と共に取り組んでいきます	1年
2					
3					
4					
5					